

(別紙様式)

# 平成31年度 学校自己評価システムシート ( 県立東松山特別支援学校 )

(A3判横)

目指す学校像	児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた適切な教育を推進し、「生きる力」を育成する学校
--------	--

重点目標	1 教職員の専門性の向上 2 安全な教育環境の整備 3 自立と社会参加に向けた支援の充実 4 開かれた学校づくりとセンター的機能の充実
------	--

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。

※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	7名
	生徒	1名
	事務局(教職員)	9名

学 校 自 己 評 価						学 校 関 係 者 評 価		
年 度 目 標					年 度 評 価 ( 2 月 1 日 現 在 )			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	
1	<p>○昨年度、新学習指導要領実施に向けて学校教育目標等の見直しを行った。今年度は新たな学校教育目標等の具現化に向けた、各学部の教育課程を見直す必要がある</p> <p>○太田ステージを活用した実態把握および学習グループ編成は定着したが、新転任者を中心に研修を実施し引き続き取り組んでいく必要がある。</p>	<p>・教育課程編成要領の理解と教育課程の見直し</p> <p>・太田ステージの研修の継続</p>	<p>①教育課程編成要領の理解のための研修会を実施するとともに、日課表を含めた各学部の教育課程の見直しを行う。</p> <p>②自立活動の授業の改善に向けた研修会を実施する。</p> <p>①新転任者に向けた研修会を実施するとともに、児童生徒の実態把握と学習グループ編成に活用する。</p> <p>②的確な実態把握のもと、個に応じた指導・授業改善を進める。</p>	<p>①教育課程の見直しに係る研修会を、5回以上実施できたか。</p> <p>②自立活動の授業改善のための研修会を、3回以上実施できたか。</p> <p>①太田ステージを実態把握・学習グループ編成等に、効果的に活用することができたか。</p> <p>②研究授業などを通して、個に応じた授業改善を進めることができたか。</p>	<p>各学部の教育課程の大枠が決まった。</p> <p>①新学習指導要領の実施に向け、教育課程委員会を中心に学校の教育目標や教育課程・日課表の見直しを行った。全体研修を2回、各学部でそれぞれ6回(延べ18回)研修会を行った。</p> <p>②自立活動では全体研修会を2回、各学部で実施に向けた実態把握研修会等を延べ15回実施した。</p> <p>学校全体で太田ステージを児童生徒の指導に役立てた。</p> <p>①太田ステージの研修をもとに実態把握を行い、グループ編成を行った。効果的な教育活動につながった。</p> <p>②年次研修の研究授業(14回)を中心に、実態把握を進め個に応じた合理的配慮を行った。児童生徒の主体的な活動につながった。</p>	A	<p>新学習指導要領は来年度から小学部が完全実施となる。今年度見直した本校の教育課程や「時間における自立活動」を、保護者や地域に理解していただきながらの実施が課題となる。その為には、保護者面談やHP等を利用して情報発信をしていく必要がある。</p> <p>太田ステージを活用した実態把握は定着してきた。実態に応じた指導支援が必要となる。今年度以上の授業改善が必要となる。</p>	<p>・教育課程の見直しについて 新学習指導要領の実施に伴い、日課表を含めた教育課程の見直しを行ったとのこと、新年度に変更点の概要や目的の説明をしていただけると有り難い。</p> <p>・太田ステージの取り組みについて 学校での指導と家庭でのかわりが違うと、児童生徒が混乱する。学校と家庭で検査結果を共有し、同じ方向を向けるよう、学校からのアドバイスをお願いしたい。</p>
2	<p>○昨年度、安全面に配慮を欠いた事案が起きたことをふまえ、全職員で再発防止に努め、安全面に十分配慮した教育活動を行う必要がある。</p> <p>○引渡し訓練は、今年度実施し課題を確認する必要がある。また、災害備蓄品は計画に基づいた購入を始めた。更に、児童生徒の非常食は各家庭に依頼し、災害時に対応することとした。</p>	<p>・安全面に配慮した教育活動の展開</p> <p>・引き渡し訓練の実施</p> <p>・災害備蓄品の整備</p>	<p>①-1移動時を含め、児童生徒の把握を確実に進行。</p> <p>①-2火や熱を伴う器具の取扱いを安全に行う。</p> <p>①引き渡し訓練を実施、課題を整理する。</p> <p>②3年先を見通した備蓄品の購入計画に基づき購入を進める。</p>	<p>①-1移動時を含め、児童生徒の把握を確実にできたか。</p> <p>①-2火や熱を伴う器具の取扱いを安全に行い、事故がゼロであったか。</p> <p>①-1引渡し訓練を実施し、課題を把握し整理できたか。</p> <p>①-2一斉メールの登録率が上がったか。</p> <p>②備蓄品の購入計画に基づき購入することができたか。</p>	<p>教職員に児童生徒の安全確保意識が高まった。</p> <p>①-1移動時を含め、児童生徒の把握を確実に実施し、事故無く教育活動ができた。</p> <p>②-2火や熱を伴う器具の取扱いについては、細心の注意をはらい無事故で教育活動を展開できた。</p> <p>引渡し訓練を実施し、次年度実施の改善点を整理した。</p> <p>①-1引渡し訓練を10月に実施した。59名の保護者の参加であった。参加率の引き上げが課題である。</p> <p>①-2受信可能な家庭はほぼ登録が済んだ</p> <p>②今年度購入予定の物は購入した。各家庭から持参の災害バックは90%であり、更なる周知が必要である。</p>	A	<p>昨年度起きた、安全面に配慮を欠いた事案については、教職員の連携と、今まで以上の児童生徒の把握が必要となる。教職員間のさらなるコミュニケーションが求められる。</p> <p>今年度、引渡し訓練を実施したが、参加者は141名中59名である。スクールバスでの引き渡し訓練なども含めて課題はある。災害バックを含め、引き続き保護者への呼びかけをしていく必要がある。</p>	<p>・安全面に配慮した教育活動の展開について 来年度以降も、教職員間でさらなるコミュニケーションをとっていただき、安心で安全な教育活動の展開をお願いしたい。</p> <p>・引渡し訓練について それぞれの家庭で都合があるのだろうが、参加率を上げていくため、学校からの呼びかけに加え保護者間での呼びかけを含め改善をしていく必要がある。</p> <p>学校での引き渡し訓練が定着したら、スクールバス乗車中に災害に遭遇した場合を想定した引き渡し訓練を実施してはどうか。</p> <p>・災害バックの持参率について 90%の児童生徒が持参しているというが、さらに呼び掛けて向上させてほしい。</p>
3	<p>○保護者と共通理解を図りながら個別の教育支援計画の作成を行っている。アセスメントを通して児童生徒の個に応じた指導・支援を進めていく。</p> <p>○対人関係や精神面などの課題を有する児童生徒が多く、外部専門家等と連携していく必要がある。</p>	<p>・保護者との共通理解に基づく教育支援プランの作成・活用・評価</p> <p>・外部専門家を活用した教育相談の実施</p>	<p>①教育支援プランを5月に完成させ、児童生徒へより丁寧な指導・支援を行う。</p> <p>②年度末に面談を行い、保護者と評価を共有する。</p> <p>①外部専門家を活用した教育相談を行い、より個に応じた支援を行う。</p>	<p>①家庭訪問、個別面談等で支援の内容について保護者と共通理解を図ることができたか。</p> <p>②年度末に評価を保護者と共有できたか。</p> <p>①外部専門家(精神科医)の相談を計画とおり、学期に1回は実施できたか。</p>	<p>支援内容について、保護者との共通理解が深まった</p> <p>①家庭訪問、個別面談で支援の内容について共通理解を図り、指導支援に役立った。</p> <p>②年度末の面談で評価の共通理解を図り、来年度の指導支援に役立てる。</p> <p>外部専門家を活用して、指導支援方法を改善した。</p> <p>①外部専門家(精神科医)の相談を各学期1回実施した。日頃の指導支援に大いに活かすことができた。</p>	B	<p>家庭訪問や保護者面談で支援の内容について保護者と共通理解は図れているが、更に合理的配慮が必要となる場合もある。教職員間で情報共有を行い専門性の向上が必要である。</p> <p>外部専門家の相談は、好評で学校・保護者ともに考え方・指導支援の参考になっている。来年度以降も、引き続き実施できるようにしたい。</p>	<p>・個別の支援プランについて 保護者との共通理解に基づいて教育支援プランが作成・活用され評価が生かされるよう、さらに学校と保護者が連携を深め教育活動を推進してほしい。</p> <p>・外部専門家の活用について 専門家のアドバイスは保護者にとって非常に参考になる。来年度以降も継続してほしい。</p>
4	<p>○年2回の学校公開、HP、学校だより等で学校情報を発信している。更に積極的に情報発信をしていく。</p> <p>○コーディネーターを中心として教育相談や学校支援を行い、センター的機能の充実を図っていく必要がある。</p>	<p>・HP等による積極的な情報発信</p> <p>・コーディネーターを中心とした特別支援学校支援学習ならびに地域支援の充実</p>	<p>①HPや学校だより等で本校の情報を月に1回発信する。</p> <p>①コーディネーターを中心として各市町村教育委員会や地域との連携を密にし、特別支援学校支援学習ならびに特別支援教育に係る教育相談を適切に実施する。</p>	<p>①HPの更新、学校だよりの発行は月に1回行えたか。また、情報は適切であったか。</p> <p>①各市町村教育委員会や地域との連携を密にし、特別支援学校支援学習・地域の学校からの要望に応え教育相談などが適切にできたか。</p>	<p>学校情報を積極的に発信した。</p> <p>①HPの更新、学校だよりの発行は月1回行った。内容については精査しながら情報発信を行った。</p> <p>センター的機能の充実が図れた。</p> <p>①各市町村教育委員会や地域との連携を密にし、地域支援を行った。コーディネーターを中心に延べ144回の支援を行った。通常学級支援には14名(小中学部児童生徒の約25%)が参加し、居住地の小中学校と交流を図っている。</p>	B	<p>HPの更新は月1回の更新を行っているが、不十分であると考えられる。学校全体で担当を明確にし対応していきたい。</p> <p>コーディネーターを中心に地域支援を行っている。昨年度に引き続き140件を超える相談があった。コーディネーターのみならず、教職員全体の専門性の向上のため、外部研修会への参加を進めていく。</p>	<p>・HPの更新について 掲載されている記事には、内容や写真が古いものが散見される。更新回数が増えると、見る人が増えるので頑張ってもらいたい。HP掲載を承認している家庭は新しい記事を楽しみにしている。</p> <p>・センター的機能の充実について 教育相談や学校支援を通して、地域から更に信頼される学校になってほしい。</p>

